

# 生産性・快適性を向上させる 節電・CO<sub>2</sub>削減行動シンポジウム

業務・家庭部門のCO<sub>2</sub>排出量は、1990年度以降右肩上がりに増加していますが、東日本大震災以降、様々な主体が積極的に節電に取り組み、空調や照明等の設備の使用法の工夫が大きな節電効果を生んだことが明らかになっています。一方で、一部の取組に対しては、我慢や節電疲れ、節電による生産性や安全性等の低下を引き起こす可能性も指摘されています。

そこで、環境省では、本年度、快適性や生産性、安全性の維持・向上を図りながら継続的に節電・CO<sub>2</sub>削減を行うモデル事業を実施しました。今般、本モデル事業の成果発表を行い、生産性や快適性等を維持・向上させる節電・CO<sub>2</sub>削減行動を促進するため、シンポジウムを開催します。皆様の幅広いご参加をお待ちしております。

日時: **平成26年3月13日(木)**  
**13:00~15:30 (開場 12:30)**

会場: **東京国際フォーラム**

ガラス棟会議室 7階 G701

(東京都千代田区丸の内3丁目5番1号) JR・地下鉄有楽町駅隣接

(<https://www.t-i-forum.co.jp/general/access/>)

定員: 150名 (参加費無料) (要事前申し込み)

主催:  環境省

開会挨拶・趣旨説明 (13:00-13:10)

平成25年度節電・CO<sub>2</sub>削減実践促進モデル事業の成果発表 (13:10-14:35)

- 公益社団法人全国ビルメンテナンス協会  
「業務用建築物における運用改善によるCO<sub>2</sub>削減促進モデル事業」
- パナソニック株式会社  
「快適性・知的生産性を考慮した照明・空調の省エネ制御の実証評価」
- 公益社団法人国際観光施設協会  
「温泉旅館の「エコ・小」活動の推進」
- 株式会社チームネット  
「緑を活用した快適体感空間の創出と見える化による、まちな居心地シェアリングの促進」
- 野村不動産株式会社  
「スマートシェア・プログラム等への参加を通じた節電・CO<sub>2</sub>削減実践事業 in「ふなばし森のシティ」」

平成25年度事業成果のまとめ (14:35-14:45)

平成26年度環境省事業の紹介 (14:45-14:50)

モデル事業者によるトークセッション  
～生産性・快適性を向上させる節電・CO<sub>2</sub>削減行動とは?～  
(15:00-15:30)

(※閉会后、モデル事業者との情報交換会を開催)

※現時点での予定であり、プログラムの一部を変更する場合があります。ご了承下さい。

## 申し込み方法

E-mail 又は FAX で **3月7日(金)17時(必着)まで**に下記宛先までお申し込みください。

- E-mail の場合: 件名に「生産性・快適性を向上させる節電・CO<sub>2</sub>削減行動シンポジウム参加希望」と明記し、[1]氏名、[2]住所、[3]電話番号、[4]勤務先、[5]傍聴券の送付先(E-mail アドレス又は FAX 番号)を御記入の上、power-saving@murc.jp までお送り下さい。
- FAX の場合: 申込書に必要事項を御記入の上、03-6733-1028 までお送り下さい。

## 申し込み先

(シンポジウム事務局) 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 環境・エネルギー部

担当: フィルバン、高橋(智)、川島

tel:03-6733-1023 / fax: 03-6733-1028, Eメール: power-saving@murc.jp

※当シンポジウムは、主催者である環境省より委託を受け、三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)が事務局を務めております。ご記入頂きましたお申し込み情報は、当社の「個人情報保護方針」及び「個人情報の取り扱いについて」に従って適切に取り扱い、本シンポジウムの運営のために利用させていただきます。(詳しくは、<http://www.murc.jp/corporate/privacy.html>)